

医学生のみなさんに協力していただき、医師を目指す 高校生・予備校生と交流しました

高校生1日医師体験に 7つの高校から33名が参加しました。



★初回コースは病院見学と医師との交流タイム

医師体験初回コースは、病院見学がメインになります。各部署をまわって医師と他職種との関係性(チーム医療)について学んでいただきました。

医師との交流タイムでは、聴診・血圧体験、縫合体験などを行いました。参加をした高校生は「血圧や聴診などから病気を確定していく医師はすごいと思った。」「縫合体験では独特の器具を使っていて、難しかったけれど新鮮な体験ができた。より医師の仕事に興味が出てきた」などの感想を述べていました。



医師体験
打腱器で腱反射を確認中

★リピーターコースでは外来見学と医療保険の学習会。医学生との交流も

リピーターコースでは、医師の診察の様子を間近に見る外来見学や、医療保険制度の学習会を行いました。MSWの久我さんからは、無料低額診療事業について、当院の事例を紹介しながら説明していただきました。

高校生は「日本でも保険証がなく、病院に行きたくても行けない人がいるという事実にはショックを受けた。無料低額診療は経済的に困っている人に対して受診してもらい、次につなげるための制度であることがわかった。」などの感想を述べていました。

医学生との交流では、高校生の質問に答えてもらったり、学生生活についてお話してもらいました。高校生は「モチベーションがあがった。これからは受験勉強を頑張りたい」と意気込んでいました。



医療保険制度の学習会

予備校生1日医師体験に5名が参加しました。

「コミュニケーションスキル」をメインに学びました

午前中は臨床心理士の方から、「コミュニケーションの特性や意思伝達のスキル」をお話いただき、学びを深めました。

その後、デイサービスで利用者さんと交流し、学んだことを実践しました。参加をした学生は「初めは何を話していいかわからず緊張したが、話しているうちにリラックスでき、学んだことも活かすことができたと思う」と感想を述べていました。

お昼休みは現役の医学生と交流をしました。たくさんの質問が出て、本人たちのモチベーションアップにつながったようでした。

午後からは病院見学や医師体験【女性医師との交流(上野八副院長)、病棟医同行(白藤副院長)】を行いました。

予備校生は「女性医師の卒後の働き方について具体的に聞くことができよかった」、「カンファレンスで患者さんの医療方針が決まるが、最終的責任は医師だ」という言葉にはっとさせられた。医師は責任が重たい。だからこそ、患者さんの状況を細かく把握しておく必要があると思った。」と感想を述べていました。



午前中に学んだことをデイサービスの利用者さんとお話しながら実践



病棟医同行